

活動名	DVや虐待家庭で育つ・育った子どもと親への ケアと支援 パートⅡ	団体名称	特定非営利活動法人女のスペース・ながおか
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	②児童虐待や性暴力などの被害児童・社会的養護を必要とする子どもの支援
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
子どもの貧困は経済的貧困だけではない。DVや虐待家庭で育つ、育ったことによる関係性の貧困も座視できない。子どもたちを守るためには社会をあげての取り組みと養育環境整備としての親の養育力の底上げが必要である。また、当事者に対する心のケアとしてのカウンセリングの提供による心の回復や支援者を支援することにより、資質の向上、維持により暴力の世代間連鎖のストップをはかる。		2017年9月~2018年8月 2017年10月~2018年3月 2017年12月~2018年3月	心のケアのためのトラウマカウンセリングの提供 支援者養成フォローアップ講座(I、II)の開催 関係性の回復、親子関係改善・向上のためのお楽しみ講座とグループセッションの開催
■活動目標	DVや虐待家庭で育つ・育った子どもたちが安全に安心してらせる社会の構築をめざす		
■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの不安定さは親の自信を失わせる。子どもの回復をはかることは親に子どものこころを理解してもらうことである。</li> <li>・地域の支援者を養成することはDVや虐待の連鎖を止める力になる。</li> <li>・子どもが安全に安心して暮らせる社会の実現をめざす。</li> </ul>		
■活動風景			
			
CAREプログラムを互いに実体験し合う受講生たち	X'masクッキングの後は楽しい実食タイム	多くの関心を集めた小西聖子さんによる公開講座	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<b>&lt;成果と改善点&gt;</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 心のケア(トラウマカウンセリングの提供)2月末までの提供回数(大人6人、子2人)は41回。支援プログラム終了者が5人いる。回数が不足する当事者への対応策が必要である。</li> <li>②-1 支援者養成フォローアップ講座第一部(CARE)には20名の参加者があり、実践的かつ効果的であることから評価が高く、他地域での開催要望も高い。</li> <li>②-2 第二部の受講生は県内全域から25名の参加があり、昨年からの継続受講生は16名である。公開講座には71名の参加者があり、「発達障がい傾向のもたらす影響」についての関心の大きさがうかがえる。更なるブラッシュアップ講座への期待も高い。</li> <li>③ 関係性回復のためのお楽しみ講座は、地域講師とグループファシリテーターが協働して親と子に真摯に向かい合い、安心・安全な場を提供できている。参加人数はインフルエンザの流行に左右されながらも32名(2回終了)となった。全体スケジュールの都合上、開催が雪季時期の設定になりがちである。</li> </ol>		<b>&lt;下半期改善点への実施体制&gt;</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① プラスアルファのカウンセリング提供は当法人からの持ち出し支援とする。</li> <li>②-1 当法人と姉妹関係にある新潟市のNPO法人に講座開催協力を打診し、広域ネットワークを構成して、CAREプログラム第一人者の加茂登志子Dr.に次年度開催の実現を働きかける。</li> <li>②-2 ブラッシュアップ講座実施に向けてスタッフ研修の中で講師招聘のための検討を始めている。</li> <li>③ 全体スケジュールを前倒し気味に設定するか、間隔を空けて3月後半、4月半ばの開催を検討する。</li> </ol>	
〒940-1151 新潟県長岡市三和3-8-1 特定非営利活動法人女のスペース・ながおか HP: 開設準備中		助成金額 500,000円	助成期間 H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。